

マーティン・リット

Martin Ritt

生年月日 1914/03/02

出身地 アメリカ／ニューヨーク州ニューヨーク市

没年 1990/12/08

【バイオグラフィ】

■ 17歳でブロードウェイの舞台に俳優として立ち、第二次世界大戦中の従軍中も特別許可を得て舞台と映画に出演した。戦後は演出家となり、舞台やテレビの演出を手掛けるようになる。アクターズ・スタジオでの講師経験もあり、教え子にポール・ニューマンやジョアン・ウッドワードがいた。57年の「暴力波止場」で映画監督デビュー。男のいきざまを熱く描いた作品が多く、「ハッド」、「男の闘い」、「ボクサー」、「コンラック先生」、「寒い国から帰ったスパイ」などが有名である。90年に死亡。

【フィルモグラフィ】

アイリスへの手紙 (1989)	監督
ナッツ (1987)	監督
スラッガーズ・ワイフ (1985)	出演
マーフィのロマンス (1985)	監督
クロスクリーク (1983)	監督
ノーマ・レイ (1979)	監督, 製作
すばらしき仲間たち (1977)	監督
殺意の行方 (1977)	出演
ウディ・アレンの ザ・フロント (1976)	監督, 製作
コンラック先生 (1974)	製作, 監督, 製作
おかしな結婚 (1972)	監督, 製作
サウンダー (1972)	監督
ボクサー (1970)	監督
男の闘い (1969)	監督, 製作
暗殺 (1968)	監督
太陽の中の対決 (1965)	製作, 監督
寒い国から帰ったスパイ (1965)	監督, 製作
暴行 (1963)	監督
ハッド (1962)	監督, 製作
青年 (1962)	監督
パリの旅愁 (1961)	監督
五人の札つき娘 (1960)	監督
悶え (1959)	監督
長く熱い夜 (1958)	監督
黒い蘭 (1958)	監督
暴力波止場 (1957)	監督